

決算特別委員会

歳入
(町の収入)

質疑



ふるさと納税の状況

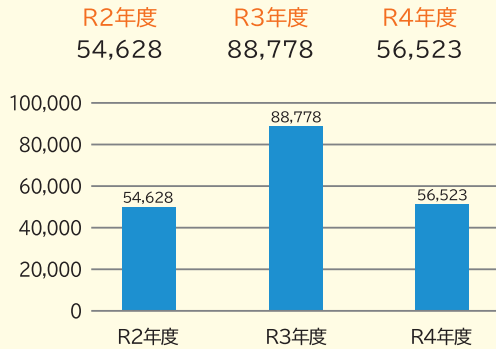
〔遠藤委員〕ふるさと応援寄付金（ふるさと納税）の動向、返礼品企業撤退はどのよう影響しているか。

いた紳士服・婦人服のオーダーメイド利用券が、企業の撤退により返礼品として扱えなくなったことが、寄付金額減少の一番大きな要因と捉えている。

〔商工観光課長〕令和4年度の実績は、寄付件数が2723件（前年比152.4%）、金額は5652万3千円（前年比63.7%）である。令和3年度寄付金額の約70%を占めて

ふるさと応援寄付金の推移

ふるさと応援寄付金額(千円)



賛成
討論

多岐にわたる対策を評価



竹田 雅彦 議員

物価高や燃料費高騰の影響を受けた町民及び事業者へ、地域応援券や各種交付金を交付し経済対策を講じた。保健福祉分野では、

全年齢の保育料完全無償化及び副食費無償化

を実施し、子育て世帯へ支援した。また児童発達支援センターが整備された。

産業振興分野では、

高騰する生産資材の購入支援に取り組み、一定の効果があつた。緑の循環システムについては、今後も期待する。観光分野では、令和6年度からのふるさと

森林公園の新たな指定管理者の指定が行われた。町内の観光施設や観光資源が活用され、発展することを期待する。

教育関連では、荒砥高校の入学者が40人となったことは特筆すべきものである。さまざまな支援や魅力づくりが功を奏したと高く評価する。

今後、デジタル化がさらに進む。町民が等しく恩恵を受けられるよう、尽力いただきたい。町民の視点に立ち、耳を傾け、各施策の目標達成を切に望む。